きな雌を

雄サケの精子放出量

できるようにしている。

「あれは

の雄と雌を入れ、

産卵行動を観察

者の関心を呼んでいるのが、

し指の先ほどの小さな装置。

雄サ

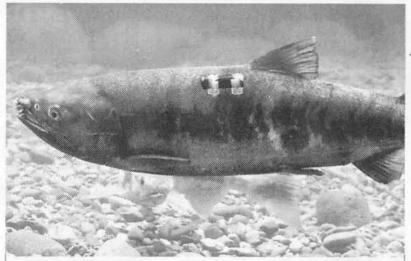
何かな? 小型カメラ?」と入館

るのは、雄サケの体に取り付けた でわかってきた。 ケの水族館として知られる標準サ ているらしいことが、日本一のサ 雌サケに出会うまで精子を節約し 小さな計測装置だ。 -モン科学館 雄サケは、 繁殖に優れた大きな (標準町) 実験のカギを握 での実験

動させる時間を計る加速度センサ

ケが精子を放出する際に、体を振

川を模した魚道水槽にシロザケ 同科学館では今月末まで、 実際



雄サケの体に装着された加速度セン 標津町の標準サーモン科学館

体に計測装置付け実験 標津サーモン科学館

る予定だ。 と推測する。 る可能性が大きい。雄は小さい雌 かれる日本動物行動学会で発表す には精子を少ししか出さず、 をたくさん出すので繁殖につなが な雌に出会うため節約している」 研究成果は、 牧口さんは 「雌は大きいほど卵 29日に広島大で開 (六分一真史) 大き

助手、 コンドー をたくさん出していることが分か ぼ比例していた。 るのは、日本大学生物資源科学部 ったという。 の雌の体が大きいほど長く、 里を量ったところ、 2年前から実験に取り組んでい 牧口祐也さん(31)。 ムを装着して精子の放出 振動時間は相手 振動時間にほ サケに